

サッカーW杯アジア最終予選 日本—タイ戦を応援しよう！ マッチフラッグの制作ワークショップ 日本サッカーミュージアムで開催

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）アジアセンターは、福岡県太宰府市を拠点とするアートプロジェクト、「アジア代表日本」プロジェクトの実行委員会との共催で、スポーツとアートの融合を提唱し活動するアーティストの日比野克彦氏をディレクターに迎えた「マッチフラッグ・プロジェクト」を日本国内及び東南アジア各地にて展開しています。

「マッチフラッグ」とは、一枚の布のうえに、サッカーの試合で対戦する両国のナショナルカラーを用いて作る旗のことです。昨年9月はタイ・バンコクにて、男子W杯アジア最終予選の日本—タイ戦にあわせたアート・ワークショップを開催しました。試合を待ちわびる気持ちを絵に込めるとともに日本とタイのことを語り合い、完成したマッチフラッグは試合当日、会場で大きく掲げられました。

タイ代表を迎えるホームゲーム開催直前の3月26日に、今度は日本でワークショップを開催します。会場となる東京都文京区の「日本サッカーミュージアム」バーチャルスタジアムの、子どもから大人まで誰でも自由に参加できる空間で、制作を行います。

この機会に貴媒体でのご紹介ならびに当日の取材についてご検討いただけますよう、お願い申し上げます。



9月タイ・バンコクでのワークショップ様子



2016年9月の日本—タイ戦の試合会場に掲げられたマッチフラッグ

■マッチフラッグ・プロジェクト「アート・ワークショップ in Tokyo」

- 【日時】 2017年3月26日（日）13：00～16：00
- 【会場】 日本サッカーミュージアム バーチャルスタジアム（東京都文京区サッカー通り3-10-15 JFAハウス）
- 【主催】 国際交流基金アジアセンター、アジア代表日本実行委員会
- 【協力】 公益財団法人日本サッカー協会
- 【参加費】 無料 ※申込み不要

<マッチフラッグ・プロジェクトについて>

国際交流基金アジアセンターが2015よりアジア代表日本実行委員会と主催し、マッチフラッグの制作ワークショップを国内及びアジアにて展開しているプロジェクト。試合で対戦する二つの国のナショナルフラッグをひとつにするマッチフラッグ、お互いの国のことを想像しながらその試合の日を待ちわびる気持ちをカタチにしていきます。

※プロジェクト詳細は、プロジェクト公式ウェブサイト (<http://asia-daihyo-nihon.jp/ja/>) をご覧ください。

アジア代表マッチフラッグプロジェクト事業

主催：国際交流基金アジアセンター、「アジア代表日本」実行委員会



プロジェクト概要

アーティスト日比野克彦氏を総合プロデューサーに迎え、2018FIFA ワールドカップロシア大会に向け、アジア予選において対戦する二つの国のナショナルカラーを用いて旗（マッチフラッグ）を制作するワークショップの開催、及びワークショップのファシリテーター育成を実施。

2015年には、アジア2次予選の日本対シンガポール、日本対カンボジアの試合を中心に、日本の「染め技法」を用いて作品制作するワークショップを日本国内、シンガポール及びカンボジアにて開催。今年度は、継続してカンボジアにてワークショップのファシリテーター育成に取り組むとともに、アジア最終予選で日本と対戦するタイを対象とし、ホーム&アウェーの試合時にワークショップを開催。

プロジェクト趣旨

サッカーとアートを組み合わせた本プロジェクトは、試合の日を待ちわびる気持ちを形にするとともに、制作を通してお互いの国のことを想像し、歴史や文化に興味を持ち重んじることを目的としており、新たなサッカー文化の形成、新たな価値観の創造を目指している。また、制作には伝統的な染技術や布織り技術を取り入れ、伝統工芸の理解促進と振興を図る。

マッチフラッグのワークショップは過去FIFAワールドカップに合わせて開催されてきたが、2015年よりアジアセンターが共催しアジアへと活動を広げ、国を越えた交流の場として人の輪が広がっている。特にカンボジアでは、今後ワークショップの継続的な開催を見据え、ワークショップをファシリテイトする人材の育成にも取り組んでいる。

平成 28 年度実施内容

《タイ》実施済

2016年9月4日（日）ワークショップ開催@BACC（バンコク芸術文化センター）

2016年9月5日（月）ワークショップ開催@バンライ郡イーサイ村

2016年9月6日（火）タイ代表 vs 日本代表（ワークショップで作成したマッチフラッグを
スタジアム内観客席にて掲出）



《カンボジア》

2017年3月18日（土）ワークショップ研修（現地ファシリテーター育成向け）

2017年3月19日（日）ワークショップ開催@CJCC（カンボジア日本人材開発センター）

※大会などは予定無し、ファシリテーター育成に重点を置いた実施。

《日本》

2017年3月26日（日）ワークショップ開催@JFAサッカーミュージアム

2017年3月28日（火）日本代表 vs タイ代表（スタジアム内観客席にて掲出予定）

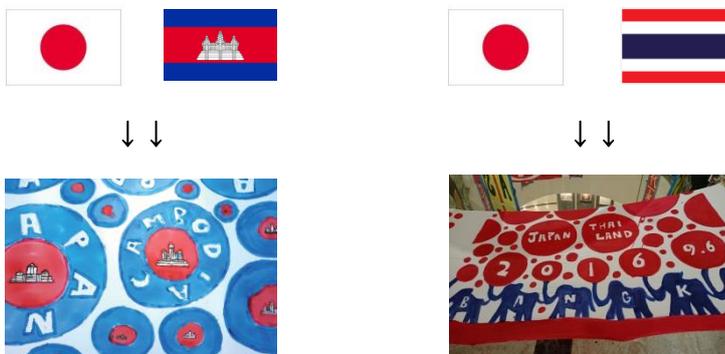
【補足】

共催団体「アジア代表日本」実行委員会とは？

「アジア代表日本」実行委員会は、日比野氏監修のもと過去に3度（2006年、2010年、2014年）にわたってマッチフラッグのワークショップ及び展覧会、またその他関連イベントを日本国内の各地で実施。事務局は福岡の太宰府天満宮を拠点とし（委員長は天満宮宮司）、日比野氏とともに市民参加型のアート活動を推進し、メンバーは太宰府市中心に一般の有志が集まり活動。

“マッチフラッグ”とは？

マッチフラッグとは、一枚の布のうえに、試合をする両国の国旗をモチーフにし、作る旗のこと。



マッチフラッグ・ワークショップでは何をするの？

白い布に、対戦する2カ国の国旗をモチーフにしたデザインを描き、参加者によって色塗りを行う（日本の伝統工芸「染め」技法を採用）。お互いの国・文化を尊重する象徴として、2つの国を1枚のフラッグに繋ぎ、お互いの気持ちの上での交流をフラッグ上で表現。互いの国・地域のことを思い描くと同時に美術の楽しみも感じてもらえるような、スポーツとアートのふれあいの場として開催。